

平成30年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 市1

千葉市立千葉高等学校 全日制の課程 普通科・理数科

1 期待する生徒像

—普通科—

高校生活を意欲的に送る意志のある者で、かつ、次のアまたはイのいずれかに該当する生徒。

ア 学習成績が極めて優れており、かつ、入学後も学習に積極的な姿勢で取り組むことができること。

イ スポーツ活動・文化活動・生徒会活動・ボランティア活動等に優れた実績を有し、かつ、本校の学習に十分適応できること。

—理数科—

高校生活を意欲的に送る意志があり、理数分野に強く興味・関心を有し、深く探究する意志がある者で、かつ、次のアまたはイのいずれかに該当する生徒。

ア 学習成績が極めて優れており、かつ、入学後も学習に積極的な姿勢で取り組むことができること。

イ スポーツ活動・文化活動・生徒会活動・ボランティア活動等に優れた実績を有し、かつ、本校の学習に十分適応できること。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 小論文	字数：500字以上600字以内 検査時間：50分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査 [500点満点]

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	普通科、理数科ともに5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	40点以下の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書 アの数値に、イ及びウについて加点（上限15点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評定2以下の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3か年皆勤である場合は加点する。 各学年において欠席が15日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	生徒会活動、部活動、その他の活動等における顕著な実績などについて加点する。
エ 行動の記録 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 小論文 [10点満点]

3名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）・d（未解答）の4段階で評価し、3名の評価者の評価の組合せ（aaa～ddd）ごとに得点化する。dを含む評価の組合せが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 字数・全体構成	<ul style="list-style-type: none"> 決められた字数に収まっている。 文章が完結している。 指示に従った原稿用紙の使い方をしている。
イ 内容・文章表現	<ul style="list-style-type: none"> 資料を正しく読み取っている。 題意に則した内容になっている。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の成績」，「調査書の得点」，「第2日目の検査（小論文）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、各選抜資料の評価等について慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の成績	調査書の得点		第2日目の検査の得点	総得点
	評定（算式1）	加点	小論文	
500点	(135 + α - m)点	15点	10点	(660 + α - m)点

(算式1) α : 県が定める評定合計の標準値95

m : 当該志願者の在籍する中学校の第3学年（義務教育学校にあつては、後期課程の第3学年）の評定の全学年の合計値の平均値

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはない。

5 その他

過年度卒業者については、第2日の検査終了後、別途個人面談を行う。

平成30年度 後期選抜の選抜・評価方法

学校番号 市1

千葉市立千葉高等学校 全日制の課程 普通科・理数科

1 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	普通科：5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。 理数科：5教科（国語・社会・英語は各100点満点，数学・理科は100点満点の得点を1.5倍して各150点満点）の合計600点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	以下の場合，審議の対象とする。 普通科：40点以下の教科がある場合。 理数科：国語・社会・英語のうち40点以下の教科がある場合。 数学・理科のうち傾斜配点后75点以下の教科がある場合。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評定2以下の教科がある場合は，審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において欠席が15日以上ある場合は，審議の対象とする。
ウ 特別活動の記録，部活動の記録及び特記事項	特に優れた内容と認められる記載がある場合には，総合的に判定する際の参考とする。
エ 行動の記録 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は，総合的に判定する際の参考とする。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

平成30年度千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項に従い判定する。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には，選抜資料に加える。ただし，提出されたことにより，不利益な取扱いをしない。
--

4 その他

過年度卒業生については，検査終了後，別途個人面談を行う。
